

香港口座開設・資産運用&クルージングパーティの旅 2015年10月16日(金)・17日(土)

【旅の目的】

世界第3位の経済規模を持ち、外貨準備高は世界で2番目、対外純資産に至っては堂々たる世界の首位を誇る我々の母国日本は間違いなく世界有数の豊かな国だ。

しかし、我々庶民にその実感は乏しく、将来に対して楽観ムードはない。

1,000兆円を超えるという世界史上でも稀にみる巨大債務を抱える政府が今後、増税などでこの先国民にさらなる負担を求めてゆかなければならないことは明



らか。

また、現在日本で進んでいる少子高齢化と人口減少も大きな問題だ。人口が減って、国民の老化が進んでゆく国の将来に成長のイメージが描きにくいことに異論を差し挟む余地はない。



特に少子高齢化は公的年金制度を直撃し、今の 40 代以下の人たちは自分が年金保険料として払い込んだ分でさえ取り戻すことができないと言われている。

将来が楽観できないのは現代日本に蔓延するこうした事実が背景にある。

だからと言って嘆いていても始まらない。

少なくとも我々にはこの状況がよくわかっていて、事態はまだそれほど深刻にはなっていない。対策を立てて対応する余地は今はまだ充分にあるのだ。

現在すべての資産を日本国内に日本円で持っている人がまずどういう順序で資産の防衛を図り、将来の安心の道を開いたら良いのか？

この点において、私が提唱しているのが以下の 3 つのステップである。

1. 場所の分散
2. 通貨の分散
3. 自分年金の構築

「場所の分散」とは国ごと、地域ごとに発生しうる重大なリスクを避けるために、自分の資産を複数カ国に分散して配置しておくということだ。



終戦直後の日本をはじめ、ロシア、アルゼンチン、ギリシャ、経済的な危機はどここの地域でも起こり得る。その時、その場所にすべての資産を集中して置いていると大きなダメージを負ってしまう。複数の国や地域に資産を配分していればその内のどこかで重大な危機が訪れても、すべてが深刻な悪影響を受けずに済むのだ。

「場所の分散」だけでは避けられないリスクに為替変動のリスクがある。いかに大きな資産があろうとも単一の通貨（例えば日本円）だけで保有しているならば、その通貨が暴落することにより大きく目減りする。だから、日本以外の地域に分散した資産はドル、ユーロ、人民元、スイスフラン、オーストラリアドル等々、複数の通貨に替えて保有しておく。そうすればどれかが下がればどれかが上がる状態になり、為替がどう動いても資産全体の価値はさほど変動しなくなる。

これが「**通貨の分散**」である。

「場所の分散」と「通貨の分散」はすべての人に今すぐにでも行なっていただきたい。これはむしろ資産を減らさないために最低限必要な資産防衛対策である。

その次のステップとして、特に我々日本人は「自分年金の構築」が必要になると私は考える。

自分年金とは、いわゆる公的年金の対極にあるもので、まさに自分独自の老後資金を確保することだと言える。先に述べたように将来公的年金からの十分な受取額が期待できないのは明らかだ。

多く人は心のどこかでまだ公的年金を当てにしているところがあるが、65,000 円/月の国民年金でどうやって暮らして行くのか?いくらかマシな厚生年金でも夫婦が老後を過ごすには充分とはとてもいえない状態。こうした老後資金も自分で準備する心構えが必要なときが来ている。



海外には低コストで運用利回りの高い商品が日本国内よりも数多くある。複数通貨を組み入れることが可能なので、「場所の分散」と「通貨の分散」を実現しながら資産を増やす活動、すなわち資産運用を実行することができるのだ。

具体的には金融的自由度の高い香港を拠点としていて、12種類の外貨が保有できるHSBC香港に口座を開設する。そこに日本に所在する資金の一部を移動して「場所の分散」と「通貨の分散」を達成する。そしてドルコスト平均法と世界中の投資対象への分散投資を駆使して、リスクを抑えながら長いスパンで安定資産を形成する長期積立で「**自分年金の構築**」を図る。

日本における資産の一極集中状態から解放して一気にそこまで進める。今回で4回目の開催となるこのイベントはそれを可能にする旅となる。

【旅の悦楽】



旅の2日目はチャーターしたボートでクルージングしながらパーティを開催する。

日本に一極集中している資産を海外で分散保有の環境作り、そして将来の生活資金形成のための準備を整えたらまずひと息ついて、香港での休日を楽しもう。

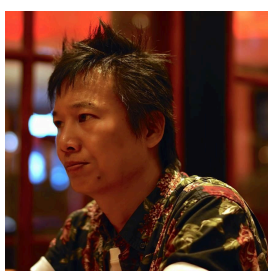
10月の香港はまだ夏の陽気、沖に停泊したボートの上でビールやワインを片手

に同じ目的を持って集まった参加者同士で投資について大いに語るのも良し。

水着に着替えてウェイクボードやバナナボートなどのマリンスポーツを楽しむのも良し。

屋根のうえで日光浴をしながら、目をとじてゆっくりとこれから展開を考えるのも良し。

以外に豊かな自然に囲まれた香港の入江の洋上で非日常的なひと時を満喫するのも人生の新しい一歩を刻む旅の一興となることだろう。



玉利将彦 (Borderless Works Co.,Ltd. 代表)

日本企業の海外駐在員として 9 年にわたる上海・香港勤務を経て 2005 年より現職。

駐在員時代から 20 年に及び上海・香港を拠点におこなってきた金融や不動産投資の知識・経験を生かし、ファイナンシャル・アドバイザー(FA)として活動。

香港における投資助言業(SFC)と保険代理業(PIBA)の免許を保有するエキスパートとして顧客のライフプランに即した投資計画の立案、オフショア長期積立ファンド・海外生命保険の仲介、海外金融機関の口座開設・運営のサポートをおこなっている。

【旅の道連れ】



今回、この旅に私の友人でもあり、顧客でもある伊田武蔵さんが合流してくれることになった。

「8カ国に資産を分散し、各国を飛び回る」

エリート商社マンを称したようなフレーズだが、この言葉が当てはまる伊田さんには、住む家がない。

海外に投資を行い、フィリピンやタイにはコンドミニアムを所有しているにも関わらず、住む家がない状態が1年半以上続いていると言う。

以前伊田さんと香港で合流した際、その場にいた初対面の人から「どこに住んでいるんですか？」と聞かれ「どこにも住んでいません」となぜか嬉しそうに語る彼と、何を言っているのか理解できないという質問者の表情の構図がとてもシュールだったのを憶えている。

居住国すらはっきりしない、というより 各国を転々としすぎて居住国がない状態でホテル暮らしを1年半ほど続けてきた伊田さん。「国にも会社にも頼らずに自力で自由に生きていく」というポリシーを徹底した結果、このような生活にたどりついたようだ。

私が伊田さんと初めて会ったのは、まだ彼が日本に住んでいた頃。後から聞い

た話では、下見なしでいきなりマレーシアへの移住した直前だったらしい。

ライター・ウェブマーケターとして独立して仕事をしているので住む場所が限定されなかった彼はマレーシアに2年住み、その後はフィリピンで1年間暮らした。

彼が特定の国に住まずにホテル暮らしをスタートした頃、香港で会う機会があったがアジア、オセアニア、北米、ヨーロッパを周り、世界一周をしたりもしているのですぞ大荷物を持っていることだろうと思っていたら、香港に持ってきていたスーツケースとバッグが持ち物すべてと聞いた時には、思わず驚いて「これだけ？」と口にしてしまった。しかもスーツケースは機内持ち込み可能な小さなサイズのものだった。

そんな飄々とした彼だがフィリピンではクオータービザという永住権、マレーシアではMM2Hというリタイアメントビザを取得し、いざという時に住める国の確保は済ませており、日本だけに頼らない仕組みを構築済みである。

また、海外居住者には年金の支払い義務がないということもあり、30歳の時に香港に渡航、HSBC香港の口座開設と同時に長期積立を25年でスタートし、自分年金を構築している。その時私がサポートをさせていただいたわけだ。

香港以外でも彼とは中国、マカオ、マレーシア、日本等様々な場所で会う。

会う国もその時々で変わるが、そもそも彼がどの国にいるか、次にどこに行くかは誰も知らない。その話を以前した時には、「自分でも来週どこにいるのかよく分かってません。基本的に行き当たりばったりですし」と言われ、思わずさもありなんと苦笑してしまった。



今回のクルージングの打診をした時も、「その時期ならアジアのどこかにいると思うので行きます」というものだった。アジアの”どこか”ってところがいかにも伊

田さんらしい（笑）

フットワークを徹底的に軽くして各国を周り、気に入った街は今後住む場所の候補として視察したり、ふらっと不動産の視察をしたり、銀行で口座開設の可否や金利を確認してみたり、ビザの条件を調べてみたり。

日本人としては特殊な生き方をしている彼だが、資産を8カ国に分散し、住める国をいくつも確保している。旅費よりも収入が常に上回っている状態であり、大多数の日本人よりも実は安定していたりする。

私は彼のことをエキセントリック・ボヘミアンと勝手に呼んでいるが、ある意味あらゆるものが加速度をつけて変化している21世紀を象徴した生き方を体現しているのかもしれない。

伊田武蔵公式ブログ <http://ijuusya.com>

◆スケジュール◆

10月16日（金）

8:45 香港にて集合

9:00 HSBC 香港・BOOM 証券口座開設

13:00 昼食

18:00 夕食（伊田武蔵さん合流）

10月17日（土）

10:39 集合

11:00 クルージングパーティ出発

19:00 クルージングパーティから帰着

20:00 夕食

21:00 解散

◆費用の概算◆

口座開設サポート費用 HSBC 香港口座開設 HKD3,000

BOOM 証券口座開設 HKD2,500

※長期積立契約割引有り

その他費用 エアチケット 約 30,000～50,000 円

※自己手配にてお願いします。予約方法をアドバイスします

ホテルの場合：10,000～15,000 円/泊

ゲストハウスの場合：5,000 円/泊

※自己手配にてお願いします。予約方法をアドバイスします。ゲストハウスに宿泊する場合はこちらで予約します

初日夕食 約 4,000 円/人

クルージングパーティ 約 10,000 円/人

二日目夕食 約 2,000 円/人

現地交通費・雑費 約 4,000 円/人

香港口座開設・資産運用&クルージングパーティの旅のお申込み